

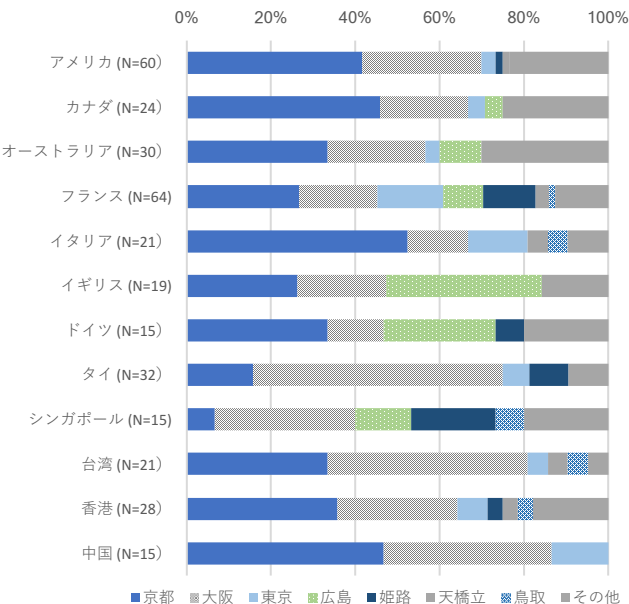
城崎インバウンド観光客動向

2018年上半期：来訪者アンケート集計（前訪問地・交通手段・周遊地）

● 2018年4-9月の有効サンプル数：440

城崎地域において、インフォメーションセンターSOZORO、観光施設、宿泊施設の皆さんのご協力をいただき、来訪された外国人観光客へのアンケート調査を実施しています。2017年の10月からアンケートを開始し、2018年4月以降は、アンケート項目に、①城崎の前の訪問地、②前訪問地からの交通手段を新たに加え、③城崎周辺への周遊の選択肢を増加して調査を行っています。この3項目をピックアップしました。

★前訪問地（市場別）



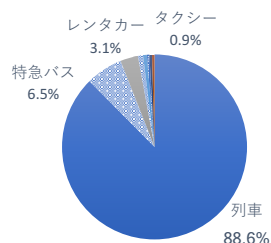
① 城崎の前訪問地は、京都が37%で最も多く、次いで大阪26%、広島8%、東京6%、姫路4%と続きます。市場別では、タイ・シンガポール・台湾といった市場で、京都より大阪を出発地として来訪される比率が高くなっています。

② 前訪問地からの交通手段は、JR・丹鉄を含む列車が最も多く全体の89%を占めます。次いで京阪神からの特急バスが7%となっています。

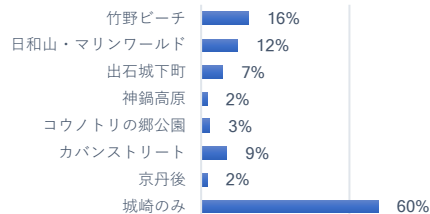
③ 城崎周辺への周遊については、城崎のみを訪問される方が60%、竹野訪問者が16%、日和山・城崎マリンワールド訪問者が12%、カバンストリート訪問者が9%、出石訪問者が7%といった状況となっています。

周遊を促すよう延泊の取組み、体験コンテンツの充実にも今後注力していきたいと思っております。

★交通手段



★周遊状況



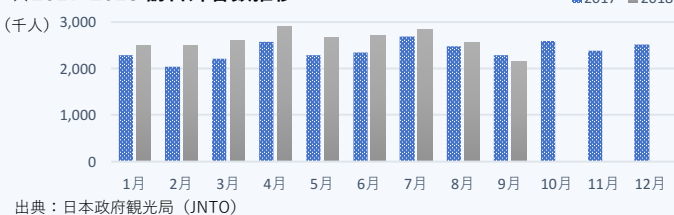
訪日インバウンドNews

2018年9月の訪日外客数：5年8ヶ月ぶりに前年同月を下回る

2018年9月の訪日外客数は、昨年9月の228万人を約12万人下回る前年同月比5.3%減の216万人となり、2013年1月以来、5年8ヶ月ぶりの前年同月を下回る結果となりました。

台風21号の影響による関西国際空港（KIX）の閉鎖、北海道胆振東部地震の影響による新千歳空港（CTS）の閉鎖により、航空便の欠航や訪日旅行のキャンセルが発生したことが大きく影響したものとされます。特に訪日外客数の約7割を占める東アジア市場においては、大阪・北海道は人気の旅行先であり、東アジア主要4市場（韓国、中国、台湾、香港）全てで前年同月比マイナスとなりました（韓国は、7月から3ヶ月連続で前年同月を下回りました）。一方、東南アジア市場および欧米豪市場（英国市場を除く）は、前年同月比プラスとなり、15市場（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、スペイン）で9月として過去最高を記録しました。地域別シェアは、東アジアが73.5%（前年同月比3.2%減）、東南アジアが9.1%（1.2%増）、欧米豪が12.7%（1.5%増）となりました。伸び率では、8月に続き20%台となったイタリアが20.6%増で最高となり、引き続き好調なロシアが続きました。

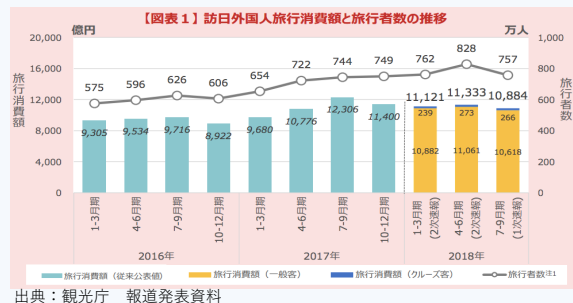
★2017-2018 訪日外客数推移



訪日外国人消費動向調査 -7-9月期第1次速-

観光庁が発表した7-9月期全国調査（第1次速報）によると、全体旅行消費額は1兆884億円（図表1）となりました。2018年から調査方法が変更になったため、単純比較はできませんが、前年同期から1,422億円の減少となります。国・地域別の消費額は、中国が4,050億円（構成比37.2%）で最も大きく、次いで台湾1,423億円（13.1%）、韓国1,298億円（11.9%）、香港840億円（7.7%）、米国705億円（6.5%）で、これら上位5市場で全体の76.4%を占めます（米国を除く上位4カ国・地域で前年同期比減）。訪日外国人1人当たり旅行支出は、15万6千円（前年同期比6%増）となり、国・地域別では、イタリア（24万4千円）、フランス（24万2千円）、スペイン（23万8千円）の順で高くなっています。

また2018年4-6月期地域調査では、訪問率NO.1は大阪府（41.8%）、次いで東京都（41.6%）、千葉県（34.1%）、京都府（31.2%）、奈良県（11.3%）の順で高く、旅行中支出NO.1は東京都（8万1千円）という結果が出ています。



ユニバーサルツーリズムとは！？

ユニバーサルツーリズムは、すべての人が楽しめる、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行です。

現在、国が中心となり、このユニバーサルツーリズムの受入体制強化、旅行商品の造成・普及のための取組を実施しています。このユニバーサルツーリズムのモニターツアーを9月13-14日と豊岡市で受入れました。城崎、出石、コウノトリの郷公園への訪問、昼食を兼ね、出石の蕎麦打ち、竹野こども体験村でのピザ作りを体験していただきました。宿泊は城崎温泉の「緑」さんにご協力いただきました。



【ツアー受入概況】

- ・**城崎・出石**：スロープ等の設置がある場所もあるが、階段のみもあり。道路の整備、自動車の往来が大きな課題
- ・**温泉（外湯）の入浴**：入浴ヘルパーの介助で問題なく対応
- ・**そば打ち、ピザ作り体験**：作業スペースは広く、部分的に補助が必要などところがあるものの、インストラクターの対応も素晴らしく、問題なく体験可能。さきみ食対応も可能
- ・**宿泊施設**：階段の乗降は、スタッフの助力により、介護者の負担はかなり軽減された。ただ自由に出入りするには少々難あり。食事は車椅子対応、アレルギー対応などの配慮あり

ユニバーサルツーリズムの観点では、街中の交通状況や道路舗装など、まだまだ整備する必要があります。一方、食や体験に関しては、対応に問題がないことが分かりました。また受入れに当たり、介護事業者といった対応者の充実も欠かせない要素だと感じました。早急に対応できるものではありませんが、このようなツーリズムの在り方を学ぶ良い機会となりました。

越境ECは観光ビジネスに活かせる！？

第9回観光まちづくりセミナー開催！！

9月19日に「越境ECを成功に導く秘訣」をテーマに、観光まちづくりセミナーを開催しました。今回は、シリーズ展開しているセミナー構成に少し変化を加え、講義とワークショップを織り交ぜたセミナーになりました。

多田EC事務所代表の多田 優之 氏を迎え、ECの基本情報・導入について詳しくご説明いただき、WEBサイト・SNSを活用したマーケット手法を丁寧にご紹介いただきました。

流通業務の経験を元にECを自ら実践し、越境ECを国内の観光イベントと連携された成功事例や、ECが縁で来訪に結び付いた事例等、さらに越境EC・観光インバウンドを行う上での人材育成・雇用・言語障壁といった課題への対応等盛り沢山の内容で、参加者の方々にも大変満足いただきました。



すでに、越境ECを展開されている事業者様もあり、交流会では個別相談で講師待ちの列が出来ていました。越境ECとインバウンドの連携（来訪された観光客と戻られてからECで繋がる。）の話は、とても面白かったです。今後、越境ECは更に注目が集まります。無理なく無駄なく上手にEC活用できるよう、またこのような機会が設定できればと思います。

欧州の訪日旅行への関心度

フランス・イタリア市場のセールスコール

フランスBtoB観光見本市「TopResa」及びラグジュアリー商談会で豊岡の観光商品をPRしてきました。併せてイタリア市場の現状調査と日系エージェントへのセールスコールを行いました。



フランスでは、今年ジャポニスム2018が開催され、パリ市内各地で日本の文化芸術イベントが行われており、日本への興味関心が高まっていることが感じ取れました。またRWC2019、東京オリンピックといったビッグイベントを見据え、訪日旅行の取扱いのない仏系旅行会社も、訪日ツアー造成に意欲を示していること、一般的な旅行ルートではない、ローカルな訪問先を求めていることも分かりました。

イタリアにおいては、ハネムーンに、日本は人気の旅行先となっています。初訪日が多く、出来るだけ多くの観光地を周遊したい希望が多いため、1都市への滞在時間は短いものの、「温泉」には非常に関心が高いようです。そのため、タトゥーに寛容な温泉地を探している旅行会社もありました。

欧州では、温泉・旅館・浴衣といった日本文化の訴求力は高いものの、アジアと比べてまだまだ情報が少ない、正確に情報が行き届かないといった課題も見えました。2019カタログに新たに城崎温泉を掲載していただける旅行会社もあり、両市場からの今後ますますの需要に期待したいです。

お知らせ：2018年11月4日・18日・25日 インバウンドガイド養成講座開催！！